ほがらか作業所がオープン

自立した社会人を目指す

障害を乗り越えて、職業訓練を行いながら自立した社会人を目指す授産施設「ほがらか作業所」(中木戸)がこのほど完成し、子どもたちは新しい建物で、元気に社会復帰を目指してがんばっています。

おむつのばしの作業をするほがらか作業所の所員たち

ほがらか作業所は、そもそも五十二年三月から、新潟県基準寝具(社長・渡辺トク)の一部を借りて「ほがらか教室」として発足。以来、親の会が、この作業所建設のために努力してきました。また、基準寝具に働くほがらか教室のOBなど六十五人も賛助会員として、この作業所建設のための経済的な援助を惜しみませんでした。用地も同社から提供を受け、同社の敷地内に完成しました。建物は鉄骨二階建て、備品を含めると一千五百万円の立派なものです。

職業訓練でいずれは自立

ほがらか作業所の所員は現在十三人、全員がバスで通い、午前八時半から午後五時まで「おむつのばし」や「ぞうきん作り」などの職業訓練を行って技術を身につけ、いずれは自立して一人前の職業人として社会に出て働くことを目指しています。そのため、緩い目で見守りながら、社会の厳しい波に耐えるよう、あまやかせず訓練を行っています。一つの例として、作業所の入口にタイムレコーダーが置いてあります。これも、社会復帰を前提とした労働習慣を身をもって覚えてもらうためだそうです。

半年で技術を覚える人も

子どもたちを指導している佐藤さんは「早い人は半年で技術を覚え、一人前の職業人として社会に出ていっている。保護者が、自らつくり、自ら運営していくこの作業所も、いずれは子どもたちが中心になって運営していくものと思っている」と話していました。

市では、ほがらか作業所のほか、市内に三か所ある授産施設に運営費の一部に補助金を贈り、子どもたちが一日でも早く社会復帰できるよう手助けしています。

北村 ゆかりさん

堀田 暎子さん

内容＝人間は情に厚く優しいと聞いていた母人魚は、娘人魚だけは人間世界に住まわせたいと願いろうそく屋の老夫婦に娘人魚を託した。初めは人間に大切にされたが、人間の金銭欲によりその信頼を裏切られて恐ろしい見世物小屋に売りとばされてしまう。人魚は自分を育ててくれたろうそく屋に自分の悲しい思い出の記念に赤いろうそくを残していく。その赤いろうそくが山のお宮にともるたびに海が荒れて大嵐になるという人魚の悲しい仕返しであった。

ひと紹介

民話オペラ出演者

北村 ゆかりさん(老婆)

武蔵野音楽大学卒
音楽教育家
東京芸術大学大学院在学中

夏休みに入るまでは、時々しか新潟へ練習にいけなくて……。あまり、日本語の曲をやったことがないので、ことばが難しいですね。それに新潟生まれのくせに新潟弁のアクセントが苦手なんです。

オペラは初めてなんで緊張しています。〝おばあさん役〟とても難しくて、今、頑張っている所です。人のいい、あたたかなおばあさんの感じを出せたら……と思っています。

早起き野球アラカルト

この大会の参加チームの中には好投手がたくさんいる。大助クラブの土橋、ニイガタラムズの小飯塚新潟信用金庫の本多、沼垂フレートライナーズの帆苅、トヨタカローラの山内、国保連の岡田、日石スラッガーズの大桃、アンドロメダの横山、クロスバーズの磯部、新潟いすずの佐藤。このほかにも「われこそは」と思っている人も多いと思う。

悲運のエース

高山 薫(石油荷役)

北越商業のエースとして昭和四十三年の秋には、準決勝で金沢桜ケ丘高に翌年の夏には又も準決勝で常山北部高に敗退。その当時のメンバーには、坂田、北村、広島など、後になってこの大会で大活躍したメンバーも多くいた。

しかし、球歴、投球の組み立て、球のキレ、この大会での実績を総合的にみると、高山薫の名前が浮んでくる。

彼は甲子園にあと一歩と迫りながら、二回もそのチャンスを逃している。

一㍍七十八㌢、七十八㌔の堂々たる体格で、マウンドに仁王立し、キッとにらみつけると打者は気迫に押されて、それだけで足元が震えた。そこに「ビュー」という音とともに目にもとまらぬ快速球がくるので打てるはずがなかった。今はやりのスピードガンで計ったなら百二十㌔は優に超えていると思われるプロ級の球を投げていたのである。

ところが、不思議なことに勝運には余り恵まれていない。第七、八回大会には「滝ずし」で二度優勝したが、それ以後石油荷役で出場して、第九回三位、第十一回二位、第十二回二位と、あと一歩のところでいつも涙を飲んでいる。強力なバックを持ち、優勢に試合を進めていながら思わぬところからいつも敗れてしまう。やはり運がないというほかないだろう。

「速球に自信があり、打たれる気がしなかった」というとおり、数年前までの彼の投球は、豪快そのもの、力のピッチングだった。最近は、そのピッチングにもうまさが加わり、幅が出てきた。打たせてとるコツを覚えたのである。

礼儀正しく、気持の良いスポーツマンで、これからもずっと活躍してもらいたい選手である。

豪快なフォームで投げる高山投手

健康一口メモ

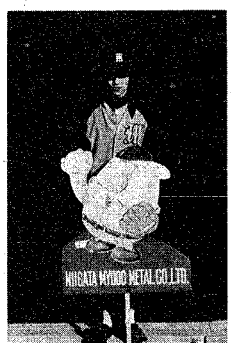
よい耳 楽しい生活

聞こえないということがどんなにたいへんなことかは皆さんもよくご存知と思いますが最近いろいろなことから聞こえの悪い子供が増えてきました。子供は耳から言葉を聞き話せる様になり成長するものです。聞こえの悪い場合治療によって治りうる場合はよいのですが、現在適確な治療法の確立されていない病気の時には一生聞こえないというハンディをもたねばなりません。

片耳が「ろう」の場合でも反対側が正常であると、「ろう」に気づかなかった親も居られます。子供が聞こえにくいのではないかと思われた場合には早目に専門医で検査をうける様にしましょう。聞こえの悪くなるのは中耳炎ばかりでなくもっと面倒な耳の病気のあることも心得、聴力検査は零歳から可能ですのでお父さんやお母さんに是非子供の聞こえについて深い関心をもっていただきたいと思います。

(新潟市医師会)

早起き野球 プラカードコンテスト入賞作品「新潟明道金属」



今年はユニホームも新調して、張りきっているんです。このプラカード、可愛いでしょ?早朝の試合なんで、とてもねむい。

それで〝ちょっと眠いけどみんなで、がまんして、楽しい野球をやろうじゃないか〟ということで作ったんです。

キャンプ・ファイアー講習会

キャンプファイヤーの木の組み方からイブロムの内容まで、キャンプファイアーについての講習を行います。
日時　7月14日午後6時～8時
会場　内野小学校グラウンド
持参品　筆記用具、運動靴
定員　50人
申し込み　電話で内野公民館へ(☎62—3111)

童話のふるさと"ごんぎつね"一緒に語りましょう

日時　7月10日午前10時～正午
場所　中央公民館第3講座
講師　子どもの本「銀河鉄道」本間 周輔さん
定員　20名
申し込み　7月5日まで(☎69—4878高橋まで)へ。あらかじめ作品「ごんぎつね」(ポプラ社)をお読みの上会場へ、
催　どんぐり童話会

昭和54年度 坂井輪地区スポーツ教室(バドミントン)

対象　坂井輪・五十嵐中学校区に在住の成人(初心者)
期日　7月10・12・17・19・24・26日、8月2日(8回コース)
時間　午後7時～8時40分
会場　坂井輪中学校体育館
定員　40人(先着順)
持参品　体育館専用運動靴
申し込み　電話で体育課社会体育係(☎67—1821)へ。

第3回 市民ナイターテニス大会(軟式・硬式)

日時　7月16・17・18・19日午後6時～9時
会場　新潟市庭球場
参加資格・対象　①市内在住のテニス愛好家(初心者)(市民大会男子C以下、女子B以下)②高校生以下の参加はみとめない。
種別　男子C・D・E、女子B・C(各ダブルス)(クラス分けは協会一任となっていますので変更されることもあります)
申し込み　7月10日午後5時までに、所定の申し込み用紙に記入のうえ、新潟市陸上競技場内体育課社会体育係(一番堀通り3の1、☎67—1821)へ電話の申し込みは受け付けません。

市制90周年記念 少年・少女スポーツ大会

日時　7月31日、8月1・2日
参加資格　市内小学校5～6年生
チーム編成　学校又は町内のいずれでもよいが監督は必ず成人であること。ただし、監督・選手とも本大会2種目2種別2チームにまだがって出場できない。
種目　①少年・少女ポートボールの部②少年野球競技の部③少年サッカー競技の部いずれも監督1人、選手20人以下とする
試合方法　3種目とも東西ブロック制(ブロックの区分は信濃川を中心に東西に2分)
申し込み　7月7日正午までに所定の申し込み用紙に記入のうえ、新潟市陸上競技場内体育課社会体育係(☎67—1821)へ。電話の申し込みは受け付けません。
監督者会議　7月12日午後3時半、市体育館、監督は必ず出席すること。